

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 24 年 3 月 29 日 (2012.3.29)

【公開番号】特開 2010-283554 (P2010-283554A)
【公開日】平成 22 年 12 月 16 日 (2010.12.16)
【年通号数】公開・登録公報 2010-050
【出願番号】特願 2009-134666 (P2009-134666)
【国際特許分類】

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

H 0 4 J 99/00 (2009.01)

H 0 4 B 7/06 (2006.01)

【F I】

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 4 J 15/00

H 0 4 B 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 2 月 15 日 (2012.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 0】

また、Difference Pilot 信号は、送信装置 5 2 - 1 および 5 2 - 2 において位相が反転された信号である。したがって、図 1 0 に内訳されるように、Difference Pilot 信号に基づいて求められる伝送路特性 B は、伝送路 $T \times 1$ および $T \times 2$ の特性が減算されたものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 9】

ステップ S 1 5 において、シンボル同期部 8 5 は、時間補間後 Sum Pilot を用いて、IFF T 処理を施すことにより、シンボル毎の伝送路特性推定を行う。その結果、全てのシンボルに対して、周波数方向に 6 キャリア毎の伝送路特性 A が推定される。そして、図 1 0 を参照して上述したように、推定された伝送路特性 A のみを用いて、近くに設置されている送信装置 5 2 - 1 および 5 2 - 2 からの 2 つの伝送路 $T \times 1$ および $T \times 2$ の特性を示す伝送路プロファイル P 1 および P 2 が得られる。なお、送信装置 5 2 - 1 および 5 2 - 2 が近くに設置されている場合には、伝送路プロファイル P 1 および P 2 は、ほぼ同じ特性を示すものである。